

平成 17 年 3 月 29 日

各 位

会 社 名 デジタルアーツ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 道具 登志夫
コード番号 2326 大阪証券取引所 ヘラクレス市場
問 合 せ 先 取締役管理本部長 宮脇 真樹
(TEL 03-5485-1340)

平成 17 年 3 月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 16 年 10 月 20 日の「平成 17 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況」発表時に公表した平成 17 年 3 月期(平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日)の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期の業績予想数値の修正(平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	780	60	85
今回修正予想(B)	880	120	115
増減額(B-A)	100	60	30
増減率(%)	12.8%	100.0%	35.2%
前年同期実績(平成 16 年 3 月期)	609	△77	△118

(金額の単位: 百万円 百万円未満切捨)

2. 修正の理由

当社の主力事業であるセキュリティ事業において、企業向け製品で情報漏洩対策機能への需要の高まりによって好調に推移し、公共向け製品では小中学校を中心に校内のインターネット環境の整備に伴って当社製品への関心と需要が大きく高まったこと、家庭向け製品では 7 月以降前年同期を上回る製品の出荷状況を維持したことにより、当事業全体の売上が好調に推移しております。このことによって、平成 16 年 10 月 20 日に発表した業績予想を大きく上回る売上高 880 百万円(前年同期は 609 百万円)となる見込みです。売上高の拡大に伴い経常利益では 120 百万円(前年同期は 77 百万円の経常損失)、当期純利益では 115 百万円(前年同期は 118 百万円の純損失)となる見込みであり、業績予想を大幅に上方修正いたします。なお、売上高、経常利益ともに過去最高となる見込みです。

3. 今後の見通し

当社の全体的な今後の見通しの詳細につきましては、平成 17 年 5 月中旬発表予定の「平成 17 年 3 月期 決算短信」にてご報告してまいります。

(注)

1. 当社は、平成 17 年 3 月 1 日より連結対象となる株式会社アイキューエスを子会社としておりますが、平成 17 年 3 月期の決算には連結・単体共に重要な影響はありません。
2. 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。また、本発表数値につきましては速報値でありますので、決算発表時の数値と若干のずれが生じる可能性がありますので、予めご了承願います。

以上